

## そともの “外者” 少し気になる植物たち

### —特定外来生物の分布調査で出会った注目すべき植物たち—

研究所では特定外来生物の分布調査を行っています。この調査では同時に指定種以外の帰化植物や、今まで県内に分布記録が少なかった種についても適宜データを収集しています。

表1は北信地方（調査範囲は坂城町を除く長野地域と北信地域）で調査し、現在までに得られたデータです（ただし、ヒメジョオンやシロツメクサなどのように既に全国に普遍的に分布することがわかってる帰化植物は調査対象から除外しています）。

表1 外来植物の確認地点数（\*は特定外来生物）

| 順位 | 種名           | 確認地点数 |
|----|--------------|-------|
| 1  | オオキンケイギク*    | 584   |
| 2  | ニセアカシア       | 143   |
| 3  | ヤエザキオオハングソウ* | 86    |
| 4  | ヤナギハナガサ      | 64    |
| 5  | ニワウルシ        | 45    |
| 6  | ククイモ類        | 35    |
| 7  | アレチウリ*       | 32    |
| 8  | オオハングソウ*     | 29    |
| 9  | ムクロジ         | 29    |
| 10 | ツルニチニチソウ     | 28    |

これを見るとオオキンケイギク、ヤエザキオオハングソウ、アレチウリ、オオハングソウは特定外来生物ですが地点数でいずれも上位10位以内に入っていました。また、特定外来生物以上に目立つ外来植物も多いことがわかります。本稿ではこのなかの特定外来生物に指定されていない4種、ヤナギハナガサ、ククイモ類、ムクロジ、ツルニチニチソウの分布状況や特徴について紹介します。

#### ■ ヤナギハナガサ *Verbena bonariensis*

原産地：中央アメリカ、南アメリカ

民家の庭、道端、空き地に多く見られます。アスファルトの隙間や砂利を敷いた空き地でも生育可能なため、園芸用に用いられたものが逸出しています。他県では大規模な群落が河川敷などで見られるようです。



図1 ヤナギハナガサ

#### ■ キクイモ類 *Helianthus* 属

原産地：北アメリカ

休耕地や、道ばたに多くみられます。ククイモは里芋のような塊茎（イモ）ができ、戦時中食用としていました。これは現在でもカライモと呼ばれ栽培さ



図2 キクイモ

れている地域もあります。イヌクイモの塊茎は小さく食用には向きません。

#### ■ ムクロジ *Sapindus mukurossi*

在来種とされていますが、中国から入って社寺等に植栽され、それが野生化したものという見解もあります。昔は果実の皮を砕いて布袋に入れ洗剤として用いましたが、現在でも



図3 ムクロジ

石鹸等に商品化されている例があります。また、種子はお正月の羽子板の羽根の玉に使われます。長野県植物誌（1997）によれば、県内の自生は南部のみとなっています。しかし、我々の調査では、北信地方にも分布し、高木個体も既に存在することが確認できました。これらについて植栽によるものか自然繁殖しているものかを区分するのはこの調査だけでは困難です。しかし、いずれにしてもムクロジは温暖化が進めばさらに県内の生育適地が広がる種と考えられます。

#### ■ ツルニチニチソウ *Vinca major*

原産地：地中海沿岸

常緑の蔓性植物で観賞用に栽培されます。道端、舗装されていない駐車場や空き地によく見られます。空き家の庭を覆い尽くしていることもあります。侵略性が高そうである反面、都市建築物の壁面緑化や屋上緑化の材料として有望な種とも言われています。



図4 ツルニチニチソウ

このような広域的な調査を中長期で定期的に継続して行えば、外来種の侵略性や生態系への影響の評価につながると考えられます。また、温暖化などの気候変動と外来種の分布変動との関係などについてもいずれは明らかになっていくものと思われま

図1、3は以下のサイトを引用させていただきました

図1：<http://bonhomme.cocolog-nifty.com/blog/2006/06/index.html>

図3：[http://fng.blog.ocn.ne.jp/kokyogaien/2008/11/post\\_7fae.html](http://fng.blog.ocn.ne.jp/kokyogaien/2008/11/post_7fae.html)

参考文献：長野県植物誌編纂委員会（1997）長野県植物誌．信濃毎日新聞社．

（前河正昭 kanken-shizen@pref.nagano.jp）